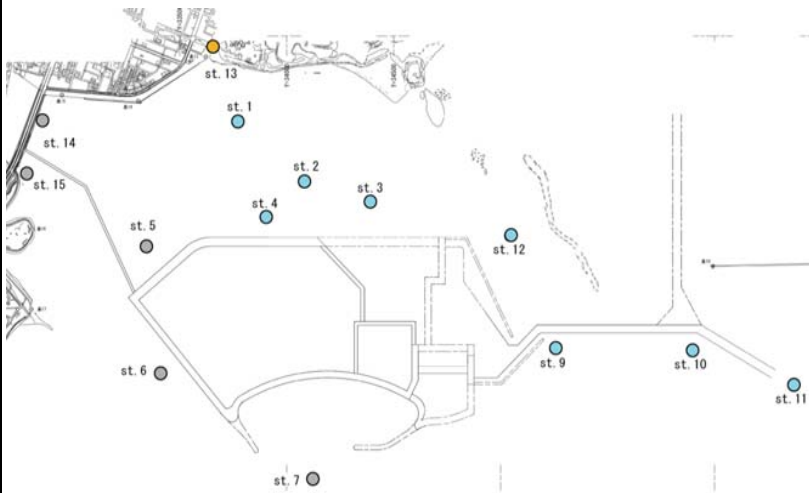


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は12月25日のst.1で2.9mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は12月6日のst.12で3.5mg/Lであった。		今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、捨石・被覆石(投入、均し)、鋼管杭打設、H鋼引抜き、H鋼打設、基礎掘削、養浜砂(投入、均し)、コンクリート打設等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。  今月の国施工事は、護岸工事及び鉄塔撤去工事で、上部工(伸縮目地、伸縮目地仕上げ)、裏埋材(洗掘箇所補修、仕上げ均し)、橋梁上部撤去、橋梁杭橋脚撤去、H鋼杭引抜き・打設、杭穴処理、鋼材運搬、鋼製覆工板撤去、上部工補強材設置、PC覆工板撤去・設置、PL溶接が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。	・特になし	
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は1.2mg/L、0.3～2.9mg/Lの範囲で推移していた。		
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は0.7mg/L、0.3～3.5mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=5回(25計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=1回(25計測中) 平均値は10.0mg/L、3.0～57.2mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	12/18の57.2mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日3.5mmであり、降雨による濁り流入もみられた		
基準超過時の気象概況	全ての地点で、監視基準を満足していた。	【調査位置図】 			
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。				







第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和元年12月1日～令和元年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は12月17日(PM)のst.5で観測された5.0mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.7mg/L、&lt;1.0～5.0mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=26計測中16回 st.15=26計測中12回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=26計測中0回 st.15=26計測中0回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14: 12/25 (PM 上げ潮時)39mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.5mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。</p> <p>st.15: 12/11 (PM 上げ潮時)20mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が8.0mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>	<p>【調査位置図】</p>		
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			



